

第1検討部会 会議録

会議の名称	第13回 第1検討部会
開催日時	平成20年2月8日（金）午後6時02分から9時10分
開催場所	川口市職員会館 会議室
出席者	（部会長）金井副委員長 （副部会長）金子委員、神尾委員 （委員）池田委員、砂沢委員、落合委員、佐藤（一）委員、宮原委員
会議内容	・石塚氏（元川口市財政部長）へのインタビュー ・第2回運営調整部会の報告について ・次回の運営調整部会までの検討項目について ・条例に盛り込む項目の検討について ・今後の部会の進め方について ・まち歩きの提案について
会議資料	・運営調整部会の概要報告
発言内容	■石塚氏へのインタビュー ※別添インタビューメモを参照 ■第2回運営調整部会の報告について ■次回の運営調整部会までの検討項目について 金井部会長 ・本日の議題はたくさんありますが、まず第2回運営調整部会（以下、調整部会）の概要報告についてお願いします。 （説明する） ・調整部会から各部会へいくつか宿題があるということですね。両副部会長から補足はありますか。 ・各部会の温度差を感じました。特に「協働」、「市民のためには」という点については温度差があります。 ・調整部会の権限は決まったということですね。 ・各部会への宿題は3点あるということです。 ・ちなみに、我々が提案した3月までに項目案を出すというのは却下された形ですが。 ・宿題について、今、見ていきなり議論するのは大変ですが、何か皆さんからアイデアがあればお願いします。とりあえずは、3月24日に回答を

	出すということです。 ・平成 20 年 12 月に答申したいという点がスケジュールでは重要なポイントです。来年の 3 月の議会に上程するのに、逆算するとそうなるというスケジュールです。 ・②の条例のスタイル、理念型か具体的規定型かという点、条例の素々案を誰が作るのかという点はやや難解な議題ですね。 ・理念型というのは、自治とは何かとか、まちづくりの方向性といった理念について書く、あるいは住民投票の制度を設けるといった程度の記述にとどめて、具体的な手続きや方法は個別条例に委ねるというスタイルと理解しています。 ・具体的規定型は、例えば、住民投票は市民の何割以上同意すれば可能といった個別の中身を書いていくというイメージです。 ・個別具体的に書かないと骨抜きになってしまう可能性がありますし、一方で個別具体的に書くと合意形成が難しくなります。 ・最初から気にする必要はないのではないのでしょうか。具体的な合意形成がとれれば、詳細に書けばよいし。 ・具体的といっても、書き方次第ではないのでしょうか。 ・誰が素々案を書くのかは大事な論点です。みなさんが盛り込みたいことを書けるかどうかに関わってきます。おそらく調整部会の 16 人で書くのは難しいので、調整部会のなかで起草委員を選出するということになるかもしれません。 ・「原案は 7 分の力」と言いまして、原案を書くのは大事ですから、慎重に検討したいテーマです。 ・③の PI については、この第 1 検討部会では、ある程度中身が固まってからやるという意見でよろしいですね。 ・②は非常に重いテーマですが、みなさん、いかがですか。各部会はある程度、具体的な項目ごとに分業したほうがやりやすいでしょうが。しかし、そうすると、担当しない項目に意見が言いにくくなります。ここは中身に関わる最大のポイントです。次回、検討していきましょう。 ・調整部会を開くたびに PI については専門的な組織を立ち上げようという提案がでる可能性があります。 ・16 人では動けないので、広報・PI をやるとなると、3 人程度の実行部隊が必要という話になると思います。 ・個人的にはそんなにやりたいのであれば、どうぞやって下さいと言って
--	---

	差し上げたいと思います。 ・個人の思い入れが強過ぎると、各部会を代表した PI を行ってくれるのか心配です。独断になる可能性もあるのではないかと。 ・やりたい人が私的にするのは自由です。調整部会の名において PI を行うというのと、個人で私的に広報や P I をするのは違います。 ・PI の企画のたたき台を有志が作って、それを調整部会でオーソライズしてもらうという話も調整部会の議論のなかでは出たのですが、市民参加については、検討部会の中で議論をしているということで、別組織の設置には難色を示した委員さんもいらっしゃいましたので、合意には至りませんでした。 ・自治基本条例で規定する市民参加について検討しているといっても、それと今回の PI とは別ものだと思いますが。 ・ひとつの思い込みがあるようです。思い込みが何であるか、議論をすれば見えてくるかもしれませんが。市民参加と言っている人も、そんなに深い到達点まで考えられているわけではないと思います。 ・宿題については、色々な角度から時間をかけて、議論をしていくとよいと思います。 ・個人の思い入れが強過ぎると、各部会の総意を代表した PI を行ってくれるのか心配であり、独断になる可能性もあるのではないかと、という見解に賛成です。“市民参加で自治基本条例を作る”といっても、「市民参加」とは何を意味するのか。さきほどお聞きした PI を主張される方は、多くの人に声をかけてそれで決めるということを考えていらっしゃるようですが、今回の川口市の自治基本条例の策定では、市が議会を通してやっていたり、公募で策定委員を市民から募ったり、学識の方や各種団体の方が参加して検討するという手続きで進められております。私はこれこそ、まさに“市民参加で作る”という一つの形であると思います。P I を主張する方々は、そこを否定した意見だということにも思えます。間接民主主義の中では、数を集めて全員から意見を聞く形をとると、結局は思い入れの強い方々の意向に引っ張られる恐れがあります。市民への説明や懇談会は、しかるべきタイミングでやったほうがよいでしょうけれども、別に P I 等のための組織をつくることには、反対です。 ・この会議自体が市民参加でやっているわけだから。これが市民参加の委員会でない、という受け止め方をされているとすると、それは違うと思います。
--	--

- ・PIについては時期尚早というのがこの部会の見解ということですね。
- ・全体のスケジュール次第でもあります。まだ②の素々案も決まっていな
い段階では、PIも難しいと思います。
- ・まだコンテンツがない現状では、PIは難しいでしょう。
- ・①のスケジュールは、来年3月の議会への上程を考えるならば、市の用
意したこの案でいくか、もしくは早める以外にはないということです。
- ・期限を決めると大事なプロセスが抜けるのではないかと心配する委員さ
んもいらっしゃいました。
- ・確かに、スケジュールに押されて議論が不十分ではいけません。
- ・時間がないのであれば、終日に渡って審議する集中審議の日程を確保す
るとか合宿するとか、集中的に議論するしかありません。
- ・②はまた次回議論しましょう。

■条例に盛り込む項目の検討について

- ・4月の全体会では、第1部会としては、条例に盛り込むアイデアについ
て報告したいと思います。
- ・みなさんの案を再度集約し、次回の部会の前に送付しますので、ご意見
がありましたらご連絡ください。
- ・前回、部会長からご提案がありましたように、インタビュー内容も適宜
盛り込みながら4月の報告会資料としようと思います。
- ・今のところは、理念型、具体的規定型のどちらに偏ることなく、フルセ
ットでやっているという状態だと思います。
- ・4月10日の全体会で報告できるようにがんばるということで、みなさん、
いい知恵をお出しいただければと思います。
- ・これは感想ですが、この部会では1人ゲストの方に語っていただいて、
同じ空気を委員で共有して、そして、その空気にのっとって質問をする
ので、積み重ねがあるのですが、他では2時間の会議時間で自由に意見
を出し合い、ポストイットをたくさん出し合うところもあるようで、意
見集約が難しいのではないのかなあと思いました。
- ・今の時点では、なるべく項目を増やす方向で、なんでも入れておけばよ
いと思います。

- ・項目をできるだけ多く出し合ったあとで、絞り込む段階にはいるのではないかと思います。
- ・A という項目を入れたいという人がいたときに、A は入れたくないという人が出たときは調整が必要です。
- ・同じ概念を使っている、例えば、「市民参加が大事です」といったときに、考えている中身が違うという可能性もあります。その場合にも、調整をする必要があります。
- ・今の段階では具体的なアイデアを出さない限り進まないですね。理念的になるのか、具体的になるのか、そこで調整して具体的な記述で折り合いがつかなければ理念的になるでしょうし。
- ・項目によっても、理念的記述になるものと具体的書き方になるものがあるのではないのでしょうか。理念型か具体的規定型かという分け方の問題提起自体が、“ ためにする ” 議論になるかもしれません。
- ・まずはどういう内容を条例に書きたいのかというのがないと、前に進みません。
- ・当面、我々としては 4 月 10 日を目指して、条例に盛り込みたいアイデアをなるべく否定せずに、出していくことにしましょう。

■今後の部会の進め方について

- ・今後の部会のスケジュールについて決めたいと思います。
- ・4 月 11 日と 4 月 25 日にしましょう。
- ・4 月以降は何をするかはまだ決めていませんが、何かアイデアはありますか。
- ・女性ヘインタビューするのがいいのではないのでしょうか。
- ・確かに、今まで呼び出した方々は全員男性でした。女性の方からお話を伺うことは重要だと思います。
- ・川口市政が歴史的には「男性優位」だったという事実を反映しているのかも知れません。
- ・何のテーマで女性をお呼びするのかということで、自治基本条例に何を書きたいかにもよると思います。
- ・川口における女性の地位というのは一般的にどうであったのか、という

- こともあると思います。
- ・あとは、他に聞いてみたいジャンルはありますか。
 - ・校長先生クラスだとインタビューに適した女性もいますが。
 - ・女性のスポーツ選手もいいかもしれません。
 - ・自治基本条例づくりと関係づけられるテーマ、経験談をお話しいただける方でない。
 - ・川口の女性の地位について語ってくれる人にインタビューしたいと思います。市のほうでも少し考えておいていただけますか。
 - ・承知しました。
 - ・それでは、4月のテーマは、人をお呼びする場合もあれば、条例の中身の議論や調整部会から宿題が出されるかもしれません。
 - ・議事録は、委員の皆様のご了解をいただければ、通常版だけでも早くに出して、インタビュー部分の議事録は後でアップするという方法もあるかなと思いますが、いかがでしょうか。
 - ・我々の部会の一番の弱点は、インタビューの部分をアップしていないと他の部会の人にこういう議論があったとか、こういうことを聞いたということが共有できない点です。しかしながら、通常版は通常版ができた段階で公開するという事で構わないと思います。

各委員

(了承する)

■まち歩きの提案について

- ・先日、船上から川口を見直そうというお話が林委員からありましたが、私は陸上も歩いてみたいと思い、市からも「我がまち川口・再発見」という本も発売されたことを契機にまち歩きを企画してみたいと思います。
- ・事務局へ相談したところ、早速、安行みどりのまちづくり協議会の方にお話をして案内をしてくださるということです。その会の方が、4月26日(土)がいいのではないかとということです。詳細はまだ、決まっておりますが、みなさん、いかがですか。
- ・これは正式な部会ではなく、個人的なお誘いということですか。

	・そうです。私は第1部会の方と歩いて、学んだ歴史をフィールドワークするという形にしたいと考えました。ぜひご参加ください。 ・そうすると4月の全体会ではこの企画を発表する必要はないということです。林委員の企画と同じく、個人的私的なものとして、お願いします。 ・それでは本日はこれで終わります。 以上
次回以降日程	・次回は2月22日18時から、次々回は3月17日18時から。